

令和 3 年



県と市町の情報ホットライン

かがわ

vol.
110

発行●(公財)香川県市町村振興協会 監修●香川県政策部自治振興課
HP●<http://chousonkai.or.jp/shinkou/publication/>

まちづくり最前線/綾川町

My Town

笑顔を広げる移動スーパー「E-Wa^{イーワ}」

株式会社シニアライフアシスト 代表取締役社長 小竹 和夫さん

Top Message

コロナ禍の今こそビジョンが見える県政市政を

地域の元気印/琴平町

People

子育て・次世代支援グループ 415(よいこ)のわ



琴平町の「共助の社会づくりプラットフォーム事業」から始まった子育て・次世代支援グループ「415(よいこ)のわ」。

「絵本文庫どりーむ」を運営し、町のブックスタート事業にも協力しています。

創意工夫で子育て支援を行ってきた「415のわ」は、コロナ禍でも知恵と力を合わせ、温かい子育ての輪を広げています。



綾川町



高齢者の暮らしを守りたい 笑顔を広げる移動スーパー「E-Wa」

綾川町は、北部は丘陵地、南部に中山間地域が広がり、高齢化率は令和2年10月現在で35.1%。交通事情や身近な商店の減少により、高齢者の日常生活は支障をきたしています。そこで、日常生活に必要な食料品や日用雑貨などの買い物が困難な人々をサポートすることで、暮らしの維持向上を支援し、合わせて地域福祉の向上を図ろうと、あやがわ移動スーパー「E-Wa」が走り始めました。



左から綾川町健康福祉課課長 高嶋 健一さん、綾川町健康福祉課課長補佐・保健師 篠岡 有雅さん。

住民の切なる声に応えて

2018年に前町長の退任により町政を引き継いだ前田武俊町長は、各地域を回る中で、特に山間部の高齢者のみなさんから、買い物などの不便さの声を聴きました。自然環境も素晴らしく、いつまでも住みたいふるさとなのに、このまま暮らしていけない不安があるということです。

く健康福祉課に指示を出しました。「すでに町の北部には移動スーパーが走っており、実現は簡単なことと思っていました。ところが、既存の業者をはじめとして、地元の店舗など数カ所にお問い合わせしましたが、商品の補充や人員の確保の問題もあり、実施は不可能という答えばかりでした。最後にイオン綾川店に相談し、実現しました。」と、健康福祉課の高嶋課長は、当時の状況を語られました。

お得と便利、安心の「いいわ」を広げる
そして、2019年秋に綾川町・綾川町商工会・イオン綾川店が連携して移動スーパー「E-Wa」がスタートすることになりました。

これは何とかしなければならな
いと思った
前田町長
は、さっそ



綾川町長 前田 武俊さん。

イオンは、他県においては独自で移動スーパーを数々手掛け、地方自治体から依頼を受けたケースもありました。そこで、前向きに検討しようとの答えが返ってきたのです。

「E-Wa」には、大きくは三つの事業内容があります。一つは「移動販売サービス」。地域の集会場や自治会が要望する場所にイオン綾川店が移動販売車で伺い、店舗と同じ条件で生鮮食品、食糧品、日用品などの販売を行います。販売価格は、イオン綾川店での販売価格と同じ。店舗で実施する割引も適用されます。現金のほか、イオンクレジット・電子マネー・イオン綾川町商品券も利用することができます。

二つ目は「注文販売サービス」。移動



「E-Wa」のロゴマークも鮮やかな移動スーパー車。事業母体であるAEON(イオン)の「イ」、綾川町と綾川町商工会の「アヤガワ」の「ワ」から「E-Wa(イーワ)」とネーミングされ、「便利でいいわ」「これ、いいわ!」「みんなといい輪!」をキャッチフレーズに、みなさんの笑顔が集うひとときをイメージしてロゴマークが作成されました。



「E-Wa」販売ルート図。



牛乳、魚などの健康を支える食品も冷蔵状態で新鮮なままです。探し物があれば、従業員さんがすぐに出してくれます。通えば好みも分かってくれ、おすすめ商品も持ってきてくれます。

支え合いの輪が広がる

さつそく中山間部が多い旧綾上町エリアの自治会などに声を掛けましたが、いざとなると駐車場の確保、雨天時の対応場所

販売サービスで取り扱っていない商品についても、移動販売時に注文することで、今回の販売時に届けることができます。三つ目は「見守り支援サービス」。移動販売サービスに來なくなったり、ほかの利用者さんからの情報などで、確認が必要と判断した場合は、販売員が状況確認を行い、町の健康福祉課にすみやかに連絡します。このように「E-Wa」は、三つのサービスで、人々の暮らしを守っています。

楽しみや絆、健康効果も

移動スーパの日に合わせて、高齢者のためのミニデイサービスのようないきいきサロンや高齢者の体力作りのための「ほっとか連」と100歳体操など、通いの場を開催している地区もあります。そこでは多くの利用者が集い、「E-Wa」があるから通いの場にも参加するという方もあり、相乗効果が生まれました。

や荒天などにより中止になった場合の連絡方法などにも必要で、思ったほど希望自治会が集まりませんでした。当初は週5日で1日5カ所、計25カ所でスタート。開始後3カ月経過時点で、利用者にアンケートをとり、その結果から、買い物という生活支援に効果があったのはもちろんですが、「外出の機会が増えた」「楽しみが増えた」「近所の人との会話が増えた」という結果が得られ、高齢者の食生活は、もちろんのこと身体活動や社会生活の変化、また介護予防、支えあいの仕組みに繋がるのではないかと期待が高まりました。利用者数は5人程から、多い場所では20人近い利用があり、徐々に利用者数も増えてきました。そこで、1年を経過した段階で新規場所も追加検討し、現在は29カ所で実施しています。

いくつになっても笑顔で暮らせる町

実際にお邪魔した「主基集会所」でも体操の後で、みなさんが買い物を楽しんでいました。それぞれに買い物かごを持った人々からは「近くで買い物ができるのは、本当にありがたい」「広い売り場で迷うこともなく、安心して買い物できる」「人に会えるのが楽しみ」「ほいほいものを用意してくれる」「お店と同じ値段なのがうれしい」「新鮮な刺身やアイスクリームも食べることができる」と喜びの声が多くありました。また、「なくなったら困る」という切実な声もあり、コロナ禍の今はことさら、高齢者のみなさんにとって頼みの綱ともなった「E-Wa」です。

「重い荷物を運べない人もいて、従業員の人が荷物を持って道を渡ったり、家まで運んだりすることもあるようです。今後は、個別の宅配も視野に入れて考えなければならぬのではと思っています」と語ってくれたのは、健康福祉課の篠岡課長補佐。「綾川町では、移動スーパの拡充のみならずデマンドタクシーや町営バスのフリー乗降などを実現し、安心の暮らしを確保するためにさまざまな面から検討を重ねています」と前田町長。いつまでも笑顔で暮らせるまち「住まいるあやがわ」づくりに、移動スーパのごとく東奔西走の日々は続きます。

香川の先進企業の力を探る あの人に会いたい！

株式会社シニアライフアシスト

代表取締役社長

小竹 和夫さん

介護の世界には2025年問題があります。戦後すぐに生まれたベビーブームの団塊の世代が、この年に後期高齢者に達します。団塊の世代は80万人以上もいうつしゃるともいわれています。人口減少、超高齢化時代を迎える今、県政市政は明確なビジョンを掲げて対策を打っていただきたい。特にコロナ禍では、打つべき対策のいかんにより壊滅的な結果を招くこともあります。人命と地方経済の命運に関わることですから、ビジョンを持つて的確な施策を願います。

総合建設業を営む「小竹組」を出発点とし、24時間サービス付きシニア向け賃貸住宅「ロイヤルレジデンス

プリモ」、介護付有料老人ホーム「ロイヤルケア高松」「ロイヤルケア高松アネックス」、ロイヤルケア高松デイサービスセンター「テルメ」を運営する株式会社シニアライフアシストの小竹 和夫氏にお話を伺いました。





日本をつくってきた私たちの先輩が、最後の瞬間まで幸せに過ごせる場所を目指してスタートした株式会社シニアライフアシスト。



ホテルのような外観を持つ介護付有料老人ホーム「ロイヤルケア高松」と「ロイヤルケア高松アネックス」。

■ 貴社の経営理念をお教えてください。



社内に掲げられた株式会社シニアライフアシストの宣言と行動指針。

当初から社は理念を掲げていたわけではないのですが、5年ほど前に半年ほどかけて策定しました。宣言は「私たちロイヤルケア高松はお客様のより良い生活のために行動します」というもの。言い古された言葉かもしれないかもしれませんが、お客様第一をうたっています。

続いて行動指針、侃々諤々で議論したなかで浮かび上がったのが「笑顔」というキーワード。当社は「介護付有料老人ホーム」「デイサービスセンター」「シニア向け賃貸住宅」の三つの施設を運営しておりますが、その出発点の母体は建築関係の企業です。数々の高齢者施設の建築にも携わり、その際に感じてきたのが、受付が閉鎖的だということです。

小さな窓から職員が顔を見せるだけという作りが一般的でした。そこで、自社で運営するのなら明るく開放的な受付にしたい。よく言うのが「飛び出していけ!」「ようこそ来てくれました」という思いを全身で表現するわけです。もちろんセキュリティの問題はありますが、防犯カメラや音が出ることで、いち早く来客を察知することができます。すると、事務室の中から飛び出していくというのが笑顔です。また、施設内においても明るい空間を心がけましたが、真に明るい空間を作るのはスタッフの笑顔です。新人研修においても、大切なのは笑顔と説いています。

次に「わがまま・個性」。設立して17年目になりますが当初から提唱していたのが「わがままを言える施設にしてくれ」ということです。どんな施設にするかと計画するときに、「自分が入ってもよい施設」「自分の肉親を入れてもよい施設」と考えれば、シンプルで分かりやすいと気がつきました。では、自分が入ってよい施設と考えるのはどんな施設かと考え、「個性を尊重し、わがままを聞いてくれる施設」という結論に達

したわけです。

3 番目には「生涯現役・生涯満足」。これは、デイサービスを手掛けるきっかけでもあります。介護の世界には2025年問題があります。戦後すぐに生まれたベビーブームの団塊の世代が後期高齢者になる、それが80万人以上といわれています。75歳以上の方々がどんな生活をしているかというと、20年前、30年前と違って、



自ら働きやすい職場を創り上げ、いきいきと働くスタッフのみなさん。チームワークもバツグンです。

ばりばり仕事をしている人も多く、元気に遊んでいる方も大勢おられます。そういう人たちを受け入れる施設として、重要なのが「自立支援」。

ご自身の力で元気に生活するのを支援する施設が必要だということです。寝たきりを極力排除して、一日も長く元気で過ごせるよう支援したいというのが3番目の「生涯現役・生涯満足」です。

次は「興味・関心」。施設を運営する中でさまざまなインシデントが起きます。それを隠すのではなく、なぜその事故が起きたかと原因を追及し再発防止に努めるというのが当社の考えです。例えばこんなことがありました、奥様が買い物に出かけ、認知症気味のご主人が奥様を捜し回り、エレベーターの前に仁王立ちで待っていました。両手に荷物を抱えた奥様がエレベーターの扉が開いたと同時に、ご主人に怒鳴られたものですから、慌ててバランスを崩して転倒したことがあります。その時に、スタッフの誰かが両手に荷物を持った奥様に、「お持ちしましょうか」と声をかけていたらケガをしなかったのではないかと考えた。ご主人にもっと寄り添っていたら、事故は起こらなかったのではないかと考えるわけです。これは、入居者の

方々に興味・関心を持つことで解決できる問題です。「知らなかった」気分がなかった」を極力なくしたいと考えています。

5番目の「一流・一番」は常にそれを目指す。そうなりたいということです。

平成15年の設立以来、今日までの道のりをお聞かせください。

それまで建築業でしたので、分譲マンションの感覚で驚くほど立派な建物を建て、パンフレットを製作したところ、多くの人が見学に来てくれました。

当時は東京などで1億円を超えるような入居一時金が必要な超高級施設がありました。そこまではいかずとも、同居者同士も人生経験が重なり、話が合う方が良いだろうと考え、多少のハードルを作りたいと、四国初の入居一時金を設定しました。



総合建設業を営む小竹組が手掛けた建物内には、快適な設備がそろっています。

一年間に200組もの見学者があり、どなたも価格については高いとおっしゃらない。これはすぐにでも埋まると思ったら一年経っても入居者はわずかでした。これは困ったといういろいろ考え、サービス業と介護の専門家の方にも相談しました。すると、ハード面よりもサービスを前面に出す必要があるといわれました。立派なパンフレットはお蔵入りさせ、スタッフ手作りのパンフレットを作成しました。例えば今週こんなことがあったと、ここでの暮らしを詳細に紹介していきました。「この施設に入ってくれたら、明日からこんな生活が待っていますよ」といったものに変えたところ、半年で結果が出て、3年目にはほぼ満室状態になりました。

今では、「ここは良い」という紹介を次々といただいて、入居希望の方が来てくれます。一方、価格が非常に高いといううわさも流れてしまいましたが、けれど毎月の費用は決して高くありません。施設やサービスを考えれば、安い方だと思っています。

■今後取り組む新事業の予定は？

今後のことは次の人々に託すつもりですので、わたしは土台作りをしつかりと行いたいと思っています。時

代に合わせ変わっていくかなければ企業の存続ありません。大切なのは、変革を担う人材を育てて行くこと。そうでなければ企業の将来はないと考えています。

気持ちの中では私が10歳若ければ、終末医療のターミナルケアを手掛けたいという思いもあります。残念ながら故人となられたのがご教授くださる先生がおられて、「死の直前まで幸せに暮らせる施設」が必要だと話しておられました。先生によると、欧米に比べ日本ではモルヒネの使用量が10分の1だそう、欧米ではペインレスで最後まで普通に日常生活を送れるということです。これからは終末医療の施設が日本では必要だと考えています。

平成30年度「かがわ女性キラサポ大賞」で大賞を受賞され、働く女性の活躍に向けた取り組みや、働きやすい職場環境づくりなどが評価され、第3段階での「えろぼし」認定や「プラチナくるみん」認定、令和2年度「女性活躍子育て支援リーディング企業表彰」で優秀賞を受賞されるなど、数々の認定、受賞をされておられます。そのご感想をお聞かせください。

私が言えることでも、私の力でもなく、私の功績は唯一、みなさんからの提言にNGを出さなかったことです。働くみなさんが知恵を出し合って、働きやすい職場を実現してきました。弊社は女性社員が多くおりますが、入社したての5年間は、女性の方が間違いなく優秀です。ところが5年を過ぎると男性社員の活躍が目立ちます。女性には結婚や出産、子育ての問題が生じるからです。そこで、出産、育児後に職場復帰がスムーズにできる体制を整えています。弊社では、出産を機に退職する人はゼロ、100%みなさん復帰します。企業として心がけなければならないのは、



「わがまま・個性」を大切にするサービスを心がけています。

出産育児で休まれた人のフォローをする側から不満が出ない環境を整えることだと思っています。



平成30年度「かがわ女性キラサポ大賞」で大賞を受賞。

香川県や市町の行政に感じていらつしやることを、お聞かせください。

新型コロナウイルス感染症について、香川県では100人規模のクラスターが高齢者施設で起こりました。これを受け、施設職員にはPCR検査を無料で行うので、申し出て欲しいと行政から連絡がありました。

高齢者は、重症化のリスクが高いとされ、高齢者施設は、誰か一人が感染すれば、クラスターになる可能性もあることから、これを防ぐために手を打つ必要があります。

このため、検査をすること自体は、決して間違いではありませんが、クラスターを発生させないためにPCR検査を行うのであれば、一回検査をすれば済むという話ではありません。



小竹 和夫 (こたけ・かずお)

香川県出身 (香川県在中)
昭和25年4月11日生まれ 70歳

昭和51年 3月 早稲田大学法学部法律学科 卒業
昭和51年 3月 小竹興業株式会社
(現 株式会社小竹組) 入社
平成15年11月 株式会社シニアライフアシスト
代表取締役 就任
平成21年 5月 小竹興業株式会社(現 株式会社小竹組)
代表取締役社長 就任
現在に至る。

本社所在地 香川県高松市福岡町四丁目28番27号

PROFILE

弊社のスタッフは、必要な都度、自ら民間機関で検査を受けていますが、極端なことを言えば、毎日検査をする必要があります。何か制約があるのでしようが、限定されたPCR検査では対症療法と言わざるを得ず、行政への批判をかわすための実績づくりではないかとさえ勘ぐってしまいます。

また、検査の結果、陽性が出ればどうするのかも、現時点では見えて

いません。今は、この困難を官民が力を合わせて乗り越えるときです。行政には、ビジョンを持ったうえで、現実的な手段を考えていただきたいと思っています。感染症対応に限らず、実績づくりのようなやり方では、市民や県民の熱狂的な支持は得られません。ビジョンを持って、日々の業務に取り組んでいただきたいと思います。



危機管理総局 暮らし安全安心課
主任 曾根 祐介

AIが予測した危険地点 ドライブレコーダーから注意喚起

A-I×ドライブレコーダー

香川県では新たな交通事故抑止対策として、県が令和2年3月に作成した「AIが予測した交通事故危険度予測マップ」で公表した県内で事故の危険度が高い上位100箇所の地点を、損害保険会社が契約者に対して提供しているドライブレコーダーからタイムリーかつピンポイントに注意喚起するという全国初の取組みを1月末から実施しています。



ドライブレコーダー連携

AIが予測する事故の危険度

香川県では交通事故抑止の効果的な対策に繋げるため、過去

5年間の交通事故発生データに、道路情報、カーナビから得られたヒヤリハットデータ（急減速箇所）、小売店や飲食店等の施設情報等を加えて、AIを用いて分析、危険箇所の予測を行いました。この予測結果にもとづき、特に危険度が高いと予測された上位100箇所をイラスト化したマップを作成し、県庁をはじめ市町や警察署、運転免許センター等で配付しているほか、県ホームページで公表して広く周知しています。



交通事故危険度予測マップ

損害保険会社との連携

ドライブレコーダーは、あおり運転の報道等もあり、近年急速に普及が進んでいます。損害保険会社のドライブレコーダーは、事故の記録に加えて前方衝突検知など様々な安全運転支援アラートの機能を持っており、契約者の事故率が1割以上低下したというデータ

もあります。

香川県における令和元年の交通事故発生件数は4,537件。そのうち7割がドライバーの「安全不確認」や「前方不注意」等の漫然運転に起因するものです。

今回の取組みによって、ドライバーが事故の危険度が高い地点にさしかかると、ドライブレコーダーから注意喚起を促すアナウンスが流れるようになります。これにより、漫然運転を抑止し、事故の発生を未然に防ぐことを目指しています。

昨年、香川県では交通事故により59人の方が亡くなりました。人口10万人当たりの死者数は全国平均の2.25人を大きく上回る6.17人で、全国ワーストとなっています。

県では今回の事業をはじめ、今後も様々な対策で交通事故抑止に取り組んでまいります。交通事故を減らすためには、行政としての取組みだけでなく、県民の皆さん一人ひとりの協力が不可欠です。交通ルールを遵守し、思いやり、ゆずり合いの気持ちを持って交通マナーを確実に実践し、事故のない安全な香川県を目指しましょう。

地方公共団体における 人材育成・能力開発について

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、人材育成に関連する取り組みが例年と異なる状況となっている団体も多いかと思えます。

公務員の定年引上げに関する検討等の近年の公務員制度を取り巻く環境の変化や地方公共団体の業務内容の複雑・多様化に伴い、人材育成・能力開発に取り組み必要性は益々高まっています。

令和元年度に総務省が実施した「地方公共団体における人材育成能力開発に関する研究会」（以下「研究会」という。）の報告書の内容等から、地方公共団体における人材育成・能力開発について、留意すべき事項や人事評価の重要性についてご説明します。



政策部自治振興課
主任 渡邊 健二



**人材育成・能力開発の取組
を行うにあたり、どのような
留意点がありますか？**



研究会の報告書では、次の5つの留意すべき事項がまとめられています。

※○内は想定される取組を記載

- ①人材確保が一層困難となる中、優秀な人材を確保するための工夫（採用試験の工夫、広報情報発信の強化など）
- ②職員が将来のキャリアプランをイメージしやすい人材育成の取組（メンター制度やキャリア形成支援研修など）
- ③多様な主体と連携・協働し地域の課題解決に取り組む職員の育成及び専門性を有する職員の育成（専門知識技能を継承する体制整備、異動サイクル配置の弾力的な運用など）
- ④人事評価を活用した人材育成のさらなる推進（モチベーション向上に効果的な人事評価項目設定、評価内容の具体化など）
- ⑤誰もが働きやすい職場環境の整備（テレワーク、フレックスタイム制の導入など）

総務省では令和2年度、地方公共団体の人材育成基本方針の見直し

に関する現状と課題や、これから5つの留意事項に対応した人材育成の方策や先進的取組などの調査・研究を目的とした「地方公共団体における今後の人材育成の方策に関する研究会」が開催されています。



人材育成基本方針とは？



平成9年に総務省より通知された人材育成基本方針策定指針に基づき、職員の能力開発を効果的に推進するため、各地方公共団体が策定する人材育成の目的、方策等を明確にした人材育成に関する基本方針です。人材育成基本方針で明示する「求める職員像の実現のために必要となる能力・姿勢」と人事評価における評価項目とを関連付けることで、組織として求める行動等が評価につながり、さらに、被評価者にとつてめざすべき方向性と、評価者にとつても職員に対する育成ビジョンがより明確になると研究会で報告されています。



人事評価はなぜ実施しなければならのでしょうか？



人事評価は人材育成・能力開発の重要なツールとなつて

おり、地方公務員法において、任命権者は、人事評価を任用、給与、分限その他の人事管理の基礎として活用するものと規定されています。

人事評価は、導入すること自体が目標ではなく、職員のモチベーションを高め、組織全体の公務能率の向上につなげていくため、評価結果の活用を通じ、人材育成につなげていくことが重要です。



**人事評価結果の
活用状況は？**



総務省の「地方公共団体における人事評価の活用状況調査」の結果によれば、令和2年4月1日時点で都道府県、指定都市のほぼ全ての団体において人事評価結果を活用している一方で、市町村においては、活用率が6割程度にとどまっています。人事評価結果を昇給、勤勉手当、昇任・昇格及び分限処分へ活用せずに、例えば昇給・勤勉手当の一律支給を行うことや昇任・昇格及び分限処分を行うことは違法と判断される可能性が相当程度あると考えられる旨、研究会で報告されています。



第32次地方制度調査会の 答申について(其の三)

著：香川県政策部自治振興課

第四 地方公共団体の 広域連携

次の2つの節で構成される。

(1) 広域連携による基礎自治体の 行政サービス提供

(2) 都道府県の区域を越えた 広域的な課題への対応

(1) 広域連携による基礎自治体の 行政サービス提供

- ・ 地方公共団体がそれぞれの有する強みを活かし、情報を共有し、資源を融通し合うなど、地域の枠を越えて連携し、役割分担を柔軟に見直す視点が重要である。

- ・ また、インフラの老朽化、利用者の減少に伴う維持管理コストの増大や、技術職員、ICT人材等の専門人材の不足の深刻化に対応し、他の地方公共団体と連携し、施設・インフラ等の資源や専門人材の共同活用に取り組むことが効果的である。

- ・ 広域連携は、地域の実情に応

じ、自主的な取組として行われるものであり、市町村間の広域連携、都道府県による補完・支援など、多様な手法の中から、最も適したものを市町村が自ら選択することが適当である。

- ・ 事務処理の執行段階においては、他の地方公共団体と連携して事務を処理するに当たっての役割分担の合意を明確化しておくことが重要である。締結や変更に議会の議決を必要とし、紛争解決の手続が設けられている連携協約の適切な活用も考えられる。

- ・ 事務処理の計画段階においては、関係市町村や都道府県が、目指す未来像や連携のあり方等について対等・協力の立場で積極的に議論を重ね、必要な合意が円滑に形成されることが重要になる。加えて、住民の多様な意見を反映する関係市町村の議会が計画段階から積極的に参画することが重要である。

- ・ 定住自立圏・連携中枢都市圏以外の地域においても、共同で「地域の未来予測」を整理すること等を通じ、2040年頃にかけて生じる変化・課題の見通しを市町村間で共有し、合意形成を円滑に行った上で、安定的・継続的な広域連携の取組によって必要な行政サービスを提供していくことが重要である。

- ・ 市町村が都道府県の事務の移譲を受ける際、併せて近隣市町村の区域に係る事務の移譲を受ける取組は、広域連携の取組の内容の深化にも資するものである。

- ・ 都道府県は、市町村による「地域の未来予測」の整理の支援等を通じて、地域の変化・課題の見通しを市町村と共有した上で、個々の市町村の規模・能力、市町村間の広域連携の取組の状況に応じて、これまで以上にきめ細やかに補完・支援を行う役割を果たしていくことが必要である。

- ・ 都道府県による補完・支援の手法については、事務の委託等、市町村に代わって事務を行う手法に加え、法令上の役割分担は変更せず、都道府県と市町村が一体となつて行政サービスを提供する、協働的な手法が考えられる。

(2) 都道府県の区域を越えた

広域的な課題への対応

- ・ 大都市圏以外の地域においても、都道府県の区域を越えて広がる共通の行政課題に対し、都道府県が自主性を発揮しつつ協力関係を一層緊密にして対応することが求められる。

第五 地方議会

次の3つの節で構成される。

(1) 基本的な考え方

(2) 議員のなり手不足に対する

検討の方向性

(3) 今後の検討の方向性

(1) 基本的な考え方

- ・ 経営資源が制約される中において、広い見地から個々の住民の

利害や立場の違いを包摂する地域社会のあり方を議論する議会の役割がより重要になる。住民にとって納得感のある合意形成を進めていくためには、議会の意思決定に住民の多様な意見を反映させることが重要になる。

- ・ 住民に身近であるべき地方公共団体の議会において、住民の十分な理解と関心が得られず、議員のなり手不足が生じている状況は、住民自治の根幹に関わる深刻な問題である。

(2) 議員のなり手不足に対する

検討の方向性

- ・ 議会の議員の構成において、性別や年齢構成の面で多様性を欠いていることが議員のなり手不足の原因の一つになっている。議員のなり手不足に対応するためには、地域に貢献したいと考えている多様な層の住民がより議会に参画しやすくなるように環境を整備する必要がある。
- ・ 潜在的な議員のなり手を長期

的・継続的に涵養していくためには、各議会において、住民が議会に関する理解をより深め、関心を持つための取組を積極的に行う必要がある。具体的

には、議会や議員の活動に関する情報をオープンデータとして利用できるようにするといった情報発信や、住民との意見交換の場を設ける等の議場外での住民参加の取組推進、教育関係機関と連携した主権者教育を充実させていくべきである。

- ・ 議員のなり手不足に対する当面の対応については、①議員の法的位置付け、②議員報酬のあり方、③請負禁止の緩和、④立候補環境の整備の観点から検討する必要がある。

(3) 今後の検討の方向性

- ・ 議会制度や議会運営のあり方、議員に求められる役割及び多様な層の住民の参画について、今後とも幅広く検討を進めていく必要がある。
- ・ その際、議会運営や住民参加の取組等におけるデジタル化

への対応や団体規模に応じた議会のあり方についての新たな選択肢の提示等も含めて引き続き検討すべきである。

おわりに

本答申では、2040年頃にかけて顕在化する変化課題を分析した上で、地域社会や地方公共団体が直面する内政全般にわたる幅広い課題とその対応について示された。

現在、本答申の内容を踏まえ、国において様々なワーキンググループや研究会等が開催され、答申内容の速やかな実現に向けて議論がなされている。

今後、今まで経験したことのない広範かつ多岐にわたる課題に対し、官民を問わず連携しながら、国・都道府県・市町村がそれぞれの立場で、協力して対応することが求められている。

香川のまち歩き

香 川県の東端、東かがわ市にある「三本松」。江戸時代には港を中心に東讃第一の物産の集散地として栄え、明治時代から昭和時代にかけては手袋産業により裕福な家々がひしめいていました。今でも、商店街に30軒もの飲食関係の店があり、寺社や祠といったパワースポットも点在しています。今回は、三本松地区活性化協議会の方々のガイドでグルメスポットも交え「三本松」を巡ります。



グルメ&パワースポットを巡る 東かがわ市



四季の草花が咲く「三本松公園」。傍らには桜並木が続きます。



神仏習合の神牛頭天王と日本神話に登場するスサノオの尊が祭られている「祇園さん」。農業、防災、歌人、そして除疫の神様です。



ぶどう餅をはじめ甘いスイーツがあふれる「巴堂」。
(☎0879-25-3115)／9時～18時営業／木曜日定休

JR三本松駅から南へ徒歩1分、「ひとの駅さんぽんまつ」が今回のスタート地点。4時間無料の駐車場もあり、まち歩きの出点には最適です。最初に訪れたのは、駅前の老舗和菓子店「巴堂」^{しんまつ}。三本松駅と同時に開業し、90年以上の歴史を誇ります。武運と安全を

祈る「ぶどう（武道）餅」や東かがわ市のシンボル「虎丸山」に由来する「とら丸」をはじめとする銘菓の数々は、まち歩きのお供にもおすすめです。
続いては南新町にある「レストランオリエンタル」。



全品お持ち帰り可能な「レストランオリエンタル」。(☎0879-25-0793)／11時30分～13時30分・17時～20時30分／水曜日定休



「三本松コミュニティセンター」では協議会のみなさんがドローン教室や囲碁などの会、毎月第一日曜日には海月食堂などを開催しています。(コロナ禍で中止、延期あり)
センターをバックに写るのは、この日、ガイドしてくれた三本松地区活性化協議会の左から狩野直喜さん、小松巧さん、平尾千恵子さん、町田詳治さん。

地神さんのあたりは昭和41年まで三本松高校があり、その跡地に生まれたのが「南新町商店街」。シャッターに作品を描くアートプロジェクトが進行中。



おいべっさんと親しまれている「恵美須神社」。商売繁盛、大漁、家内安全、交通安全、安全の神様。



ズナブルな価格で提供されています。お店は40年の歴史があり、ホテルなどで修業を積んだ今のご主人となつて30年、お肉を見極める目も確かなシェフの肉料理を味わえます。

ステーキの匂いに送られ次はパワースポットに向かいます。その道中、協同組合三本松商店街の上原養敏代表理事にお話を伺いました。「巴堂さんやオリエンタルさんのみならず、ここは食のまち三本松です。スナックや菓子店も含め基盤の目のような商店街に30軒もの飲食店があり、人口密度で比べれば日本一飲食店が多かつた時期もあると言われていた地域です。周辺を合わせれば、70〜80の食べ物関係の店があるでしょう」とのこと。そして商店街の各店舗は足並みをそろえて新型コロナウイルス感染症対策を行い、「日本一安全なまち」を目指しています。具体的には新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA(ココア)」を普及するプロジェクトを昨年8月から全市に先立ちスタートさせました。また、プロのアーティストの手でシャッターに作品を残そうというアートプロジェクトも昨年からスタート。手掛けてくれたのは商店街で生まれ育った長川万里子さん。アートの地場のエネルギーをアップし、人が集まるまちにしたいと願っています。

その土地を守るという「地神さん」が見えてきました。続いて、336年余の歴史がある「勝覚寺」。香川県の保存木であるイチヨウの太木がそびえています。さらに北に上がると「寿食堂」。お昼時のみ開店する名店として地元の人々に愛されています。その東には「三本松」という地名の由来ともいわれる場所「恵美須神社」、三本松地区の守り神として信仰を集め、石柱にはNHK相撲解説者として知られる神風正一さんを始め地元有力者の名前が。



上原養敏代表理事は、「食を通じて地域を元気に!」を合言葉に活動する「東かがわ活動隊(仮)」の隊長としても活動されています。上原代表理事のお店、炭火焼肉「味道源」(☎0879-25-3336)(写真左下)と「魚源」(☎0879-26-9119)(写真右下)。

三本松漁港のほとりには、「毘沙門天」、「観音さん」、近くに「不動明王」があり港やまちを守ります。海辺を歩けば三本松港。その西の先に広がるのが地名のいわれを伝える「三本松公園」。ここから南に下り、クラゲのような建物が目印の「三本松コミュニティセンター」に至ります。東に戻り、海の神様「金比羅さん」、疫病や災難からの守り神でもある「祇園さん」に手を合わせ、線路を渡って立ち寄ったのは炭火焼肉の「味道源」さん。上原代表理事の店です。ひとの駅の隣には郷土和食料理店「魚源」があり、地元でとれた食材を生かした三本松の味を提供しています。

商店街を一巡りして、ひとの駅さんぼんまつに帰ってきました。ここから南を向けば、おうち夢街道の向こうに「虎丸山」を望みます。商店街や協議会、東かがわ市が力を合わせ地元の人々と共に歩む安全で味のある三本松の町づくり。三本松のおいしい料理やお菓子、パワースポットで2021年度は運氣を上げてまいりましょう。

「三本松地区活性化協議会」問い合わせ先

三本松コミュニティセンター ☎0879-25-4744

香川の自治に新しい力 New Face

はじめまして

高松市
国保高齢者医療課
平井 佑一さん
ひらい ゆういち



■今、熱中していることは？
バスケットボールです。試合に出場できるよう、日々練習に励んでいます。

■高松市のいいところは？
地震や台風などの災害が少なく、気候も安定しているところ、それによって市民の皆さんが安心して暮らせるところです。

三豊市
総務課
横山 裕一郎さん
よこやま ゆういちろう



■あなたのチャームポイントは？
引き締まった筋肉です。日々の運動のおかげで、体脂肪率は10%以下をキープしています。

■三豊市のいいところは？
「紫雲山」や「父母ヶ浜」といった有名な自然の観光スポットが多いところです。オシャレなゲストハウスも増加中です。

まんのう町
企画政策課
大西 花奈さん
おおにし かな



■今、熱中していることは？
色彩検定の勉強です。色の配色を知ることで、インテリア選びが楽しくなりました。

■まんのう町のいいところは？
豊かな自然にあふれるまちであるところです。夏になるとのどかな田園風景に鮮やかなひまわり畑が広がります。

三観広域行政組合
消防本部
皆見 龍也さん
みなみ りゅうや



■あなたのチャームポイントは？
空手で培った諦めない心。時間はかかるかもしれませんが、粘り強くやり遂げることです。

■組合のPRをお願いします！
三観消防は安全な地域社会を目指し活動しています。地域の方々の信頼と期待に応えられるよう日々の訓練に励んでいます。

さぬき市
国保・健康課
海原 瑞希さん
うみはら みずき



■目指す人物像は？

住民の方に相談してよかったと思ってもらえるような支援のできる保健師を目指しています。

■さぬき市をこうしたい！

子どもから高齢者まで幅広い世代の方が、自分らしく健康で暮らし続けられるようなまちにしたいです。

土庄町
健康福祉課
山本 華加さん
やまもと ほか



■今、熱中していることは？

愛犬と日向ぼっこをすることです。休日は、外でお日様にあたりながらのんびり過ごしています。

■土庄町をこうしたい！

誰もが住み続けられる活気のあるまちにしたいです。また、観光客の方にも「訪れてよかった、また来たい」と思ってもらえるようなまちにしたいです。

大川広域行政組合
大川広域東消防署
久保 尊稔さん
くぼ たかとし



■あなたのチャームポイントは？

いつも明るく元気なところです。何事にも全力で取り組むことを意識しています。

■組合の仕事内容は？

ポンプ隊員として火災現場や救助現場に出場しています。現場活動をスムーズに行うための訓練も日々行っています。

小豆島中央病院企業団
4階東病棟
福山 奏さん
ふくやま かなで



■目指す人物像は？

まずは患者様の安全・安楽を第一に考えられる看護師になることです。

■企業団の仕事内容は？

24時間体制で入院患者様の看護を行っています。一人一人の患者様の個性に沿って、入院中の生活すべてを援助します。



『絵本文庫どり〜む』がオープンする琴平町公会堂。毎週日曜日10時〜12時、第1水曜日10時〜11時30分にオープンしています。



例年は、月1回の「お話し会」や季節の工作、小さい子向けの「えほんとおそぼう会」を開催しています。

※現在は、新型コロナウイルス感染症対策のためお話し会は実施していません。



琴平町

知恵と力を合わせて「デメリットをメリットに変える」

子育て・次世代支援グループ

415(よいこ)のわ

(415のわ代表 眞鍋陽子さん)

金刀比羅宮の参道近く緑に囲まれた国の登録有形文化財「琴平町公会堂」に、「元気な子どもたちの声が響きました。この日は、子育て次世代支援グループ「415(よいこ)のわ」が運営する「絵本文庫どり〜む」がオープンする日です。

2012(平成24)年に誕生した「415のわ」は、琴平町の「共助の社会づくりプラットフォーム事業」が出発点でした。同事業では、自治会長さんや婦人会、ボランティア、PTAをはじめ多くの地域の方々、行政も含めまちづくりに関わる方、興味を持つ方が120人ほど集まり、「どんな琴平町にしたいのか」「町に足りないものはなんだろうか」と話し合いを重ねました。そして、「安心・見守り・防災」「環境美化」「子育て・次世代支援」の大きく三つの柱に分け、それぞれの目的を達成するためのワーキンググループがスタートしたの



「415のわ」の活動から生まれた「まちじゅう図書館」(町じゅうの多くの人が本を通じていつでも身近に繋がる居場所をつくるプロジェクト)の拠点20カ所の一つ。

です。その一つが、「子育て・次世代支援」のために、町に図書館がほしい。それに代わる何かを創れるかもしれないの思いで有志20名が集まった「415のわ」です。

まずは、絵本を集めるためにチラシを作り、司書の方からカバーの掛け方や分類方法なども教えてもらい、本の貸し出しにも対応できるように学んでいきました。子どもたちにも集ってほしいと読み聞かせなどを行うお話し会や、町内外の人に広く知ってもらいたいと年に一度は絵本作家さんを招いてのイベント「どり〜むまつり」も開催しました。

そうした活動が認められ、「みんな子育て応援団大賞」香川県知事賞をはじめさまざまな賞も受賞。取り組みの手応えを実感した矢先、コロナ禍でイベントの中止や絵本文庫も休館になりました。感染症対策を徹底しながら本の貸し出しのみ再開しました

が、その中で何ができるだろうかと思恵を出し合い、2020年の夏には絵本作家のスギヤマカナヨさんのオンラインワークショップを開催。会えなくても絆を結ぶよう手紙やカード作りを学びました。また、一年の締めくくりは、夏のワークショップを受けて、Xmasカードキットを作って配布しました。

また、小さい頃から本に触れてほしいとの思いから製作した「はじめてのえほん手帳」が完成し、ブックスタート対象の親子に配布してもらっています。春休みには、テーマだけを書いた絵本のお楽しみ袋を作り、家に持ち帰って読む楽しさを提供したいと計画しています。

DATA
415のわ事務局
☎0877-75-1371
(琴平町社会福祉協議会内)



「絵本文庫で育った子どもたちの成長ぶりを見るのが何より幸せ」と語る415のわ代表の眞鍋陽子さん。

長期貸付事業

本協会は、サマージャンボ宝くじの収益金を原資とし、市町および一部事務組合が行う公共施設整備等の起債事業に対し、低利資金を融資しております。

■貸付条件 償還期間および据置期間については、次の期間から市町および一部事務組合において選択していただきます。

貸付の種類	貸付対象	償還期間	貸付利率	償還方法	貸付日
長期貸付	一般会計債 (全事業)	5年(据置期間1年以内)	年0.01%(※)	半年賦元金均等償還	毎月24日 (※)
		10年(据置期間2年以内)	年0.01%(※)		
		12年(据置期間2年以内)	年0.04%(※)		
		15年(据置期間3年以内)	年0.10%(※)		
		5年(据置期間1年以内)	年0.01%(※)	半年賦元利均等償還	
		10年(据置期間2年以内)	年0.01%(※)		
		12年(据置期間2年以内)	年0.04%(※)		
		15年(据置期間3年以内)	年0.10%(※)		

※貸付利率は、令和3年2月貸付の場合。なお、財政融資資金(政府資金)の貸付金利が年0.7%以上3.3%未満の場合には、当該貸付金利から0.3%を減じた率、当該貸付金利が年0.4%以上0.7%未満の場合には、年0.3%とし、上記に関わらず、当該貸付金利が年0.3%以下の場合には、当該貸付金利と同率とします。なお、同資金の貸付金利が、年0.01%未満の場合には、上記に関わらず、年0.01%とします。また、貸付日は、毎月24日。

※令和3年4月貸付分より、財政融資資金の貸付利率が、次の表の期間別に定める貸付利率未満の場合には、上記規定に関わらず、当該貸付利率となります。

貸付期間	10年以下	12年	15年
貸付利率	年0.10%	年0.11%	年0.14%

■事業実績(令和元年度貸付) 長期貸付は7市4町および3一部事務組合52事業に対して総額17億0,350万円の貸付。

■主な貸付先

高松市／旧合併特例事業(新病院整備事業)

新病院を整備することにより、高度で専門的な医療を提供する中核病院として、地域医療機関との連携のもと医療機能の充実を図る必要がある。医療全体の最適化を目指すリーディングホスピタルとして、それぞれの医療分野において専門性を高めながら地域の医療水準の向上が図られた。

三木町／一般事業(ため池防災対策事業)

本町の所有するため池は、長年の浸食等により堤防が痩せて防災対策上危険な状態である。住民の安全安心を守るため改修工事を行い、災害発生の予防・拡大防止が図られた。

大川広域行政組合／緊急防災・減災事業(高規格救急自動車整備事業)

現在配置中の高規格救急自動車は、配置後9年が経過しており、走行距離は22万kmを超え、車両の老朽化が進み故障箇所が発生している。近年の救急件数の増加に伴い、いかなる災害現場においても、より一層効果的な救急活動が期待できる最新の高度救命処置用資機材を搭載する高規格救急自動車の整備更新が図られた。



宝くじのご購入は

香川県内の売り場で!

この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

宝くじ公式サイトでも宝くじを購入できます!!

特典1 たまる!つかえる!宝くじポイント

宝くじの購入で100円につき1ポイントの宝くじポイントが獲得できる!

宝くじ公式サイトや宝くじ売り場で1ポイント1円としてつかえる!

特典2 購入～受取までネットで完結!

24時間いつでも宝くじの購入可能! 抽せん結果も宝くじ公式サイトで確認!

当せん金は、登録した受取口座に自動でお振り込みするので、とっても便利!

特典3 宝くじ会員限定のキャンペーンに参加できる!

他にもお得な特典や便利なサービスいろいろ! 今すぐ会員登録!



本件に関するお問い合わせ先

宝くじコールセンター TEL 0570-01-1192 (ナビダイヤル 有料) TEL 011-330-0777 (有料)
受付時間 10:30～18:30 (土・日・祝日、年末年始を除く) ※電話番号を十分ご確認ください。おかけ間違いのないようお願いいたします。



公益財団法人 香川縣市町村振興協会